

参加  
無料

愛媛大学地域創成研究センター  
シンポジウム

# 地域に開かれた 建築空間のあり方について 考える

PANELIST

アサダワタル  
橋詰飛香  
中ムラサトコ、佐々木陽平

COORDINATOR

山口信夫

**木村邸**：松山市三津1丁目11-5



駐車場はございませんので、公共機関をお使いになるか、  
お近くのコインパーキングをご利用ください

2018.3.17 (SAT)  
14:00 - 16:10

WHERE

WHEN



詳細・お申込は裏面に記載しております

# Program

## 【基調報告】アサダワタル

「社会のネジをゆるめる。：表現による場づくりについて」

## 【話題提供】橋詰 飛香

「昔ながらの家づくりと古民家再生」

## 【話題提供】中ムラサトコ、佐々木陽平

「素敵なハコの条件」

音楽セッションも  
あるよ

# Panelist profile

## ●アサダ ワタル ●

文化活動家・アーティスト。2002年、バンド「越後屋」のドラマーとして、くるり主宰レーベルNMRより2枚のCDをリリースし解散。のちに紆余曲折を経て、大阪でNPOや寺院に勤めながらアートによる独特なコミュニティ活動を展開。2009年に提唱したソーシャルコンセプト「住み開き」が話題に。2010年以降は、音楽を軸に全国各地で様々なアートプロジェクトの企画演出と執筆研究に従事。『住み開き』（筑摩書房）、『コミュニティ難民のススメ』（木楽舎）など著書多数。大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員、博士（学術）。サウンドプロジェクト「SjQ/SjQ++」（HEADZ）ドラマー。



## ●橋詰 飛香 ●

野の草設計室代表。1999年、AA STUDIO 二級建築士事務所を開設、後に屋号を野の草設計室と改め、古民家再生、伝統構法による住宅建築、職人的技術の継承に力を入れている。三津地区においては、旧鈴木邸のリノベーションに携わったのみならず、2017年度実施の木村邸改修工事においてもプロジェクトの指揮をとった。今治市玉川地区にて、半農半設計をめざした暮らしを実践中。



## ●佐々木 陽平 ●

造形作家であり、絵描きであり、印刷会社社員。アトリエココ主宰。三津地区の仮装イベント「三津濱珍踊り」の起案者の1人。近年、中ムラサトコとのコラボの機会を増やしている。



## ●中ムラ サトコ ●

音楽家。ループステーションによる声の多重録音演奏や、足踏みオルガン、太鼓、ピアノなどを使って作る独自の世界観は、映画的で物語を見ているような音楽と評される。2012年より三津地区に移住。

## ●山口 信夫 ●

愛媛大学社会共創学部特任准教授。2012年より、法文学部地域・観光まちづくりコースで地域密着型の教育・研究を実践。2015年には「三津の町ポスター展」を監修。2016年より現職。



# Contact



「3 / 17シンポジウム申込み」と題し  
愛媛大学地域創成研究センター：瀧澤宛  
「所属・氏名・連絡先」を  
右記メールかFAXにてご連絡ください。

Email:kensien@stu.ehime-u.ac.jp

FAX:089-927-8820

その他ご不明な点はコチラまで >>> TEL:089-927-8974

なお、当日参加も可能ですが満席の場合はお断りする場合があります。ご了承ください。